

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	心肺蘇生中にディスポーザブルグローブが破れ傷病者の血液に暴露した事例
3. 体験した事例の中心的要素	交通事故における心肺停止患者を医療機関へ搬送後、処置室内にて傷病者を移動した際にディスポーザブルグローブが破れ傷病者の血液がグローブ内に貯留しているのに気づき、直ちに洗浄確認した結果、自分の指の皮膚が細くめくれた状態（血が滲む程度）であり血液感染が疑われた。
4. 体験した事例の原因・理由	いつ自分の指が負傷していたのかに気付かず、またディスポーザブルグローブを傷病者移動の際に数枚使用しなかった事に対する注意不足に問題があった。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20年 9月 22日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋内：搬送病院の処置室内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：血液感染症
7. 事例体験時の活動	救急その他：傷病者を医療機関の処置室ベット上に移動する際（引継時） []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	病院へ引継、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[32]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長]、同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[33]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10]年、階級[消防士長]、同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	傷病者を処置室内のベット上に移動	バックボードにて移動
経過2	B	傷病者を処置室内のベット上に移動	バックボードにて移動
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他：血液検査の結果、たまたま感染に至らなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

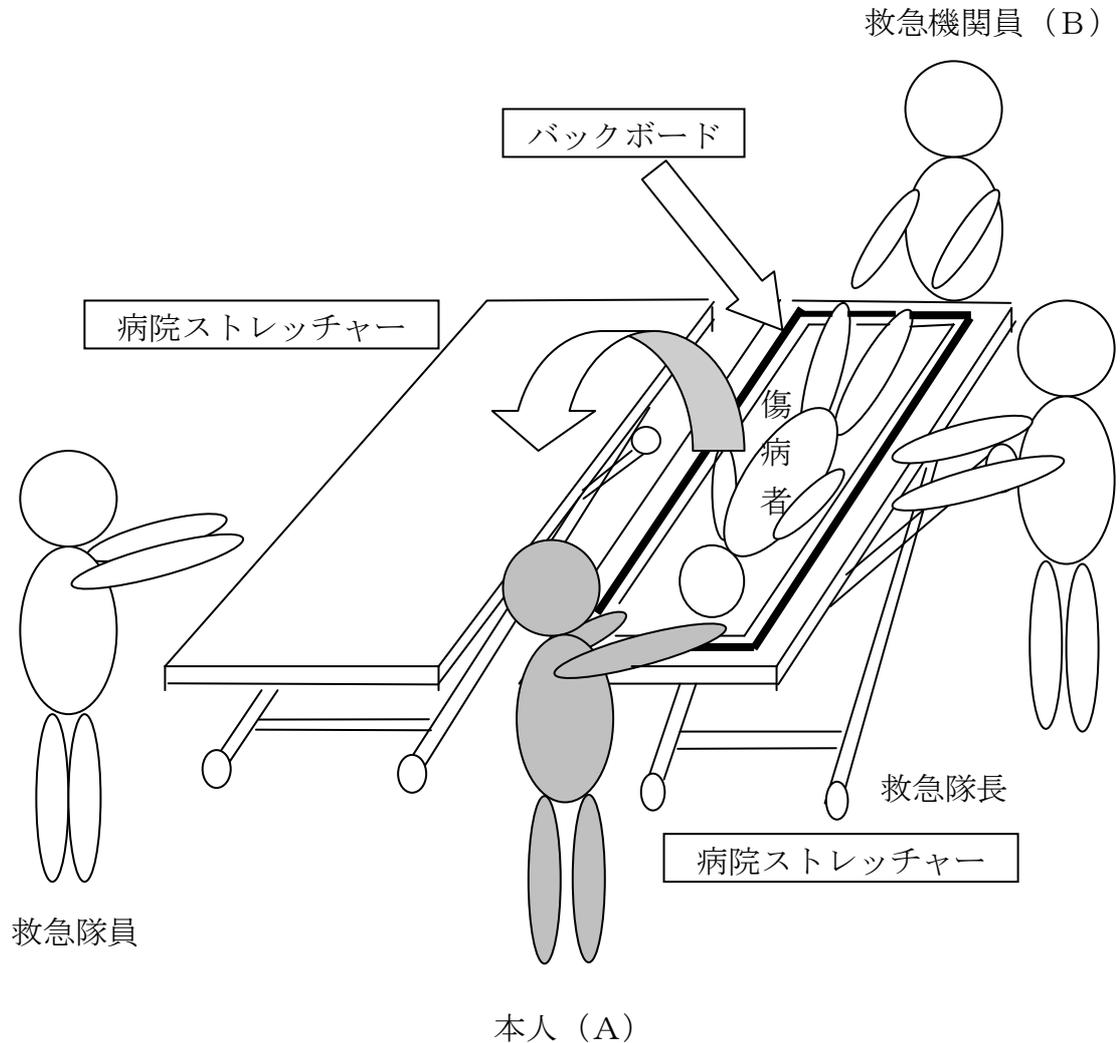
・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

災害発生状況図



(状況説明)

傷病者を救急車のストレッチャーから病院のストレッチャーに移動した際に装着していたディスポーザブルグローブ（右手第二指第二関節部分）が破損し、傷病者の頭部から出血していた血液がグローブ内に貯留したもの。

※ 本事案にあつては救助事案における出動であり、当事者（A）は水槽隊として救出活動後、市の出動基準に基づき運用しているPA連携において、救急隊支援要員として同乗し活動したもの。